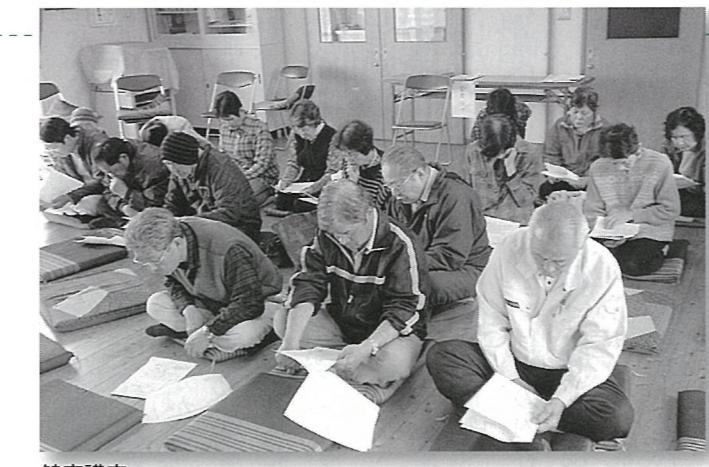




# 町内会の協力によるクラブ再建が 市老連会員増強に波及

岡山県津山市 坂上敬人会  
会員数・73名(男性・33名・女性・40名)

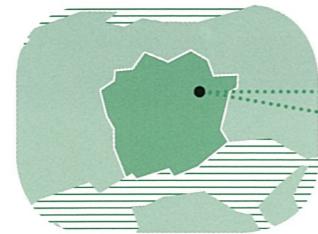


昔の生活体験学習

健康講座



あやとり(昔遊び体験学習)



岡山県  
津山市

席するなどを申し合わせて、生き生きと楽しく活動しています。  
年間活動計画は次の通りです。

## ①子育て支援活動

毎週水曜日午後3時から、小学校児童の下校時見守り

## ②花いっぱい運動

花壇三か所で種まきから

## ③リサイクル活動

アルミ缶処理作業に参加

(以上は勝北支部一斉の活動)

## ④健康活動

こけない体操(毎週1回、年配者10名参加)

## ⑤環境美化活動

お宮、公会堂清掃(月1回)

## ⑥娯楽

忘年会 カラオケ

以上が、坂上敬人会の組織再生と会員増強活動のあらましです。次にこの成功例が、津

山市老人クラブ連合会(200クラブ、会員

結成され、爾来活動を続けてきましたが、前会長になつて10年以上経過し、ここ3~4年は入会者もなく、会員26名と活動は停滞していました。

そこで勝北支部では、会長に退任を促して承諾いただき、町内会長に事情を話して、再建への協力を依頼しました。町内会では役員会において「65歳以上全員加入」を決議して、町内会長自らが入会、古参クラブ員と一緒に対象者全員に入会依頼をしてきました。

その結果、65歳以上は全員加入、そして62歳の町内会長が会員なら私たちも、といふことで、60~64歳の加入率も実に93%となり、73名の会員数となりました。

そして25年1月の総会では、規約の制定、年間活動計画の制定、女性部、若手委員会を新たに設置しました。特に、役員選出にあたっては、2年の任期を曖昧にしないこと、60代前半の会員は現役就労者が多いので、カーブミラーの年1回清掃等、年寄りのできないことを手伝い、総会には必ず出

9924名)の会員増強運動の教訓となつたことについて述べます。

## この経験を生かして 市老連も会員増強

津山市老連は、25年9月26日に創立50周年記念大会を開催ましたが、この大会では①10000人規模の参加 ②1000人の会員増強 ③記念誌の発行という三つの目標を掲げ、いずれも達成して成功させました。

「1000人の新会員増強」が提起された24年度当初は、「会員の減少は社会状況によるもので一般的な全国的な傾向であり、やむを得ないものだ」「1000人なんて夢のまた夢」「2000、3000にとどまれば大失敗」「目標は掲げるべきでない」等々の議論続出、このような消極論、敗北論が大勢を占めていました。

このよう中で1053人の新会員増強(純増約300人)に成功したのは、次のような取り組みが功を奏した結果とされています。私たちを受け止めてこれから議論し、計画を立て実践し、成果を得なければなりません、正直身の震える思いです。25年度の実践にてらし、何のための「会員増強運動」か、原点にかえった理解を図ること、具体的な行動計画を立てること等々、これからとりかかるねばと考

えていました。

(津山市老連副会長、

勝北支部支部長 高橋重逸)

## 町内会長の理解から